

## 愛知県福祉サービス第三評価事業 評価結果

### ①第三者評価機関名

NPO あいち障害者センター
----------------

### ②施設・事業所情報

名称：ふたばドリーム作業所	種別：就労継続支援B型/日中一時支援
代表者氏名：渡辺 敏雄	定員：20名（B型） 3名（日中一時）
所在地：愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り11-1	
TEL：0586（64）7378	
ホームページ：法人HP <a href="http://www.kisogawa-fukushikai.or.jp">http://www.kisogawa-fukushikai.or.jp</a>	
<b>【施設・事業所の概要】</b>	
開設年月日 2013年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人きそがわ福祉会	
職員数	常勤職員：6名 非常勤職員 11名
専門職員	サービス管理責任者 1名
	生活支援員 5名
	職業指導員 4名
施設・設備の概要	(設備等)

### ③理念・基本方針

1992年にきそがわ福祉会の基本理念を定め、その後、今日的な社会福祉を取り巻く状況等を踏まえ法人基本理念を以下のように見直した。

[1] わたしたちは、一人一人の利用者の人生が充実し、日々を生き生きと暮らしていけるような事業を営んでいきます。

[2] わたしたちは、利用者・関係者・地域の人々が、この地域で安心して暮らし続けていけるための社会、まちづくりに貢献します。

[3] わたしたちは、上記を実現していくためにも、実践・運動・経営に関して様々な事例を学びつつ、社会福祉の諸制度等が前進していくための活動を大切にします。

### ④施設・事業所の特徴的な取組

★カフェ黒田の建物老朽化により喫茶・製菓部門を廃止し、就労継続支援B型事業所の定員を28名から20名に変更。2022年1月、自前調理からクックチル方式での昼食提供に変更。8月より新たに定員3名の日中一時支援事業が加わり多機能事業所として再編・スタートした。

★利用者の自己決定を大切に自律・自立生活の力が養えるよう取組んでいる。

- ・ 仕事は①「なごみの広場」店舗での販売（産直野菜・手作り製品等）②菓子のリパック商品③授産活動として毎月、法人の公用車13台の洗車④アルミ缶や古新聞などのリサイクル回収に携わっている⑤4種類の下請け作業（部品のバリ取り、ボルトのナット巻き等）。
- ・ 毎年実施の一泊旅行は貴重な体験ができるなど利用者に好評の企画であるが、コロナ感染の影響で犬山の城下町の散策に出かけ食事や買い物を楽しんだ。
- ・ 誕生会や季節ごとの事業所企画に加え、利用者自身が選ぶ買い物、外出、文化・スポーツにも接しながら学びの機会を提供している。
- ・ 利用者が働いて得た給料で食事や買い物などの余暇活動、社会参加の機会を取り入れている。

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年9月2日（契約日）～ 2023年1月20日（評価決定日）
受審回数 (前回の受審時期)	4回 (2019年度)

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

- ・利用者自身が決めることを支援の基本に据えている。意思疎通が困難な利用者には選択肢の提供など願いや想いを汲み取る努力を行っている。
- ・朝の会で一日の目標を決め、帰りの会で振り返り各自の仕事振りを評価して働く意欲の維持・向上に努めている。
- ・一般就労を希望する利用者に同行してハローワークに出向くなど丁寧な支援を行っている。
- ・施設管理者とサービス管理責任者が虐待防止マネージャーの役割を担い、法人の虐待防止委員会の会議内容などを職場の中で共有し権利侵害の防止に取り組んでいる。
- ・利用者の意見や希望を取り入れた行事を企画し、小グループ毎の個別レク活動も実施するなど余暇活動、社会参加の機会を提供して利用者満足の向上に取り組んでいる。
- ・自前調理からクックチル方式に変更し、給食スペースを活かしてお菓子のリパック商品（計量、袋詰め、密封）を3種開発・販売を行い、利用者の所得補償に貢献している。

### ◇改善を求められる点

- ・日常的に職員とのコミュニケーションを大切にし、毎夕方・週1回の職員会議で情報の共有、相談、指導を行っているが、非常勤職員への会議参加など改善の余地がある。
- ・個人研修計画と法人研修を基本に職員育成に取り組んでいる。非常勤職員への対応はOJTで利用者の状態像の変化や障害特性等について伝えているが、職員育成の在り方について工夫が必要である。
- ・標準的な実施方法の見直しは職員会議で検討を経て行うが、検証と見直しの定期化について改善の余地がある。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

日常の活動の中で利用者の意思を尊重することを基本に配慮をしながら進めていることを評価して頂きありがとうございます。  
引き続きの課題である非常勤職員が参加できる会議の設定、内外部の研修への送り出しなど早急に仕組みを見直し改善していきます。次回の第三者評価では同じ指摘がなくなるよう職員一丸となって課題の改善に努めていきたいと思っております。この度はありがとうございました。

## ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## ふたばドリーム作業所・評価項目（細目）の評価結果

※評価細目・64項目について、判断基準（a・b・cの三段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

### 【共通評価基準】

#### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	障1	①・b・c
<コメント>理念、基本方針が明文化され、職員採用時や研修で周知している。ホームページ、パンフレットに記載・公開されている。		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	障2	①・b・c
<コメント>法人理事会、管理職会議等で社会福祉の動向や一宮市の福祉計画について把握、分析している。		
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	障3	①・b・c
<コメント>建物老朽化で喫茶・製菓部門の廃止に伴い、定員30名から20名の就労継続支援B型と日中一時支援・定員3名の多機能事業所として事業展開。自前の調理からクックチル方式にして職員体制の見直し、調理場スペースの活用など収支改善にも努めている。		

##### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	障4	①・b・c
<コメント>きそがわ福祉会として中長期的な計画を策定している		
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	障5	①・b・c
<コメント>大切にしていきたい実践、事業形態の見直し、管理運営上で大切にしたいことの3本柱を軸に単年度計画が策定されている。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	障6	①・b・c
<コメント>事業計画の策定、評価と見直しを法人の管理職会議で行っている。職場会議で事業計画の話合いを行い職員理解に努めている。		
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	障7	①・b・c
<コメント>事業計画の周知・理解の取り組みでは、コロナ禍のため役員のみが集まり保護者会で報告、交流している。参加していない保護者には資料を配布している。		

##### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	障8	①・b・c
<コメント>法人及び個人の研修計画を組み合わせることで育成、質の向上に努めている。外部研修などの案内や参加を呼びかけ、支援に対する考え方、支援技術の習熟に向けて取組んでいる。		
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	障9	a・ <b>b</b> ・c
<コメント>建物老朽化で喫茶・製菓部門を廃止し定員20名に変更。部門廃止に当たり利用者などの要望や意向を聴き取り、課題を明確にして取組んだ。第三者評価の結果に対する改善計画では職員参加の点で改善の余地がある。		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果	
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	障10	①	・ b ・ c
＜コメント＞ 職員会議で管理者の役割、責任について表明し、周知を図っている			
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	障11	①	・ b ・ c
＜コメント＞ 自立支援協議会や研修に参加し関係法令の理解に努めている。関係法令の研修内容や虐待防止などの理解促進のために職員会議で情報の共有化に努めている。			
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	障12	①	・ b ・ c
＜コメント＞ 利用者の表情や様子には気を配り、支援の質的向上についてケース検討会、職員との相談や懇談、必要な助言を行っている。			
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	障13	①	・ b ・ c
＜コメント＞ 自前調理による給食からクックチル方式に変更するにあたり、職場全体で効果的な事業運営や職員配置など経営の改善に積極的に取り組み指導力を発揮している。			

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果	
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	障14	①	・ b ・ c
＜コメント＞ 法人として人材確保に努め、定期的な研修を実施し職員育成、定着を図っている。7月研修はメンタルヘルスを取り上げ、心身の状態を見つめるストレスチェックを学ぶなど安全衛生面も重視している。			
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	障15	①	・ b ・ c
＜コメント＞ 法人主導で総合的な人事管理が行われている。			
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	障16	①	・ b ・ c
＜コメント＞ 毎年、職員の業務や異動に関する意向調査を実施し、職員の意向に配慮した職場配置をすすめている。			
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	障17	a	・ ② ・ c
＜コメント＞ 個人研修計画と法人研修を基本に職員育成に取り組んでいる。研修に参加できなかった非常勤職員に関しては学んだことを日々の実践の中で伝えるよう努めている。非常勤職員の育成計画に改善の余地がある。			
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	障18	①	・ b ・ c
＜コメント＞ 法人として経験年数に応じた研修や障害特性の研修で基礎知識の学習をおこなっている。さらに法人内各拠点の実践・運動・経営面等の違いや共通項を学び交流し、業務に活かせるよう毎年実施している。			
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	障19	①	・ b ・ c
＜コメント＞ 正規・非正規を問わず研修機会が保障されている。非常勤職員の参加も少しではあるが増えており、研修時間の保障（賃金）がされている。			

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	障20	a ・ b ・ c
＜コメント＞ 法人として実習生等の教育・育成については担当事業所を決めて取組んでいる。担当事業所に決まれば必要な体制を整備し取組むと表明した。		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	障21	① ・ b ・ c
＜コメント＞ ホームページに法人の事業報告、決算報告書等を開示している。関係機関、保護者などに広報「福祉会だより」を配布し各事業所の利用者の様子や事業所の取り組みを紹介している。		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	障22	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 事務、経理、取引ルール等は法人が規則に従って適切に処理している。		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	障23	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 散歩時に近隣の方との挨拶など日ごろから交流をするように心掛けている。野菜の直売所「なごみの広場」を外に構えたことで地域の方が多くみえ、店舗で働く利用者との交流が広がっている。		
II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	障24	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 定期的に行事の手伝いでボランティア1名の受け入れをしている。利用者との対応など留意点の説明行っている。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	障25	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 一宮市自立支援協議会や日中活動連絡会などに参加し、日常的に連携強化を図っている。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	障26	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 一宮市自立支援協議会の就労支援部会などに参加し、情報交換をして福祉ニーズの把握に努めている。法人課題の往還南多機能センター拠点づくりでは、児童発達支援センターの増築・増員の準備がすすめられている。		
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	障27	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 特別支援学校の実習生や、新規利用者を積極的に受け入れている。2022年8月から日中一時支援事業を開始して、親等が日中不在時の受け入れ先としてニーズに対応している。		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	障28	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 法人基本理念及び職員行動指針に権利の主体者として利用者を位置づけ法人研修を実施。利用者を尊重した支援について朝礼やケース検討会議等で共通の理解が得られるよう取組んでいる。		

Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	障29	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; プライバシーの保護は利用者尊重の基本であり、作業所での活動全般においてサービス提供や環境の面においても重要視して取り組んでいる。職員は入職時に個人情報保護の誓約書を記入・遵守している。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	障30	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; 相談支援事業所と連携して利用希望者が納得できるよう必要な情報の提供や説明を行っている。また自身で決定する判断材料として事業所見学や体験入所の受け入れを行っている。</p>		
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	障31	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; 福祉サービスの開始や変更にあたり、利用者・家族の希望や意向を聞き取り、利用する福祉サービスの内容などをわかりやすく説明することに努めている。</p>		
Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	障32	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; 利用者・家族の希望などを尊重し、関係機関とも連携してサービスが継続できるよう配慮している。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	障33	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; 職員との話し合いで取り組み内容を決めたり、利用者が希望する仕事、余暇活動などを選択制にして利用者満足の向上に努めている。定期的に利用者の聴き取りを実施し、利用者の意見・要望の把握に努めている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	障34	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; 「苦情申し立て」は事業所内に掲示し、窓口や担当者について周知している。第三者評価の受審を継続して、匿名の保護者アンケートを実施して必要な対応をすすめている。</p>		
Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	障35	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; 日々の支援を通して利用者への声掛けなど、いつでも話を聴く姿勢を伝え利用者が話しやすい環境づくりに努めている</p>		
Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	障36	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; 利用者からの相談や意見は現場職員が対応し会議等で周知、必要な対応を行っている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	障37	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; 職員会議でヒヤリハット報告書をもとに改善策の検討や周知をしている。災害時の避難対策にも反映されている。毎年開催している法人の安全運転研修に参加し、安全運転の啓蒙活動を行っている。</p>		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	障38	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; 法人で感染予防マニュアルを整備。昨年より新型コロナウイルスに関するマニュアルも整備され嘱託医からの助言、指導も受けながら安全確保に努めている。</p>		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にしている。	障39	① . ② . ③
<p>&lt;コメント&gt; 非常災害対策計画を整備。利用者の安全確保のため火災、地震の避難訓練も定期的に行い放水訓練、避難場所への移動、施設内の事業所の危険個所の確認も行った。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	障40	㉖ ・ b ・ c
＜コメント＞ 標準的な実施方法が文章化され、福祉サービスが提供されている。		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	障41	a ・ ㉗ ・ c
＜コメント＞ 必要な見直しは職員会議の検討を経て実施するが、定期的な検証ができるよう改善の余地がある。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	障42	㉖ ・ b ・ c
＜コメント＞アセスメントにもとづき個別支援計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	障43	㉖ ・ b ・ c
＜コメント＞ 利用者の状態変化に応じて、または法定の6か月ごとに個別支援計画の評価、見直しを行っている。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	障44	㉖ ・ b ・ c
＜コメント＞ 毎日の利用者の状況や支援の留意点などを記録し朝夕のミーティング、定例の会議で情報の共有化を行っている。グループホームと情報交換を行い利用者の状態把握に努めている。		
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	障45	㉖ ・ b ・ c
＜コメント＞ 決められた書庫に保管し施設長が管理している。		

### 【内容評価基準】

#### A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	障46	㉖ ・ b ・ c
＜コメント＞ 利用者の意向を尊重しながら作業所での過ごし方や活動内容を具体的に検討し、実践している。外出や誕生会などの企画の過程では利用者の主体的な取り組みと参加を重視してすすめている。		

#### A-1-(2) 権利擁護

A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	障47	㉖ ・ b ・ c
＜コメント＞ 事業所の運営規定に利用者の権利擁護を明示。法人の虐待防止委員会の会議内容を職場で共有し、権利擁護に関する意識と理解が深まるよう取り組んでいる。外部研修にも積極的な参加を呼び掛けている。		

#### A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	障48	㉖ ・ b ・ c
＜コメント＞ 自身でできることは見守りを基本に声掛けをし、生活の自己管理ができるよう助言、サポートを行っている。		

A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	障49	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 利用者に応じてカレンダーやホワイトボード、絵カードを使い支援している。簡単な手話でコミュニケーションもできる職員2名がいる。</p>		
A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	障50	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 日常的に利用者の様子を見守りながら、必要な声掛けをして気軽に話し合える環境づくりを行っている。</p>		
A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	障51	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 個別支援計画にもとづき工賃作業、余暇活動、レクリエーションなどは利用者の意向を大切にしたい利用者支援を行っている。</p>		
A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	障52	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 法人で障害特性の研修が位置付けられ、専門知識の習得と障害特性に応じた個別の対応、支援を行っている。</p>		
A-2-(2) 日常生活支援		
A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常生活支援を行っている。	障53	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 個別支援計画にもとづき、利用者の心身の状況に応じた日常生活支援が行われている。</p>		
A-2-(3) 生活環境		
A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	障54	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 利用者のプライバシーに配慮し、安心・安全な生活環境が整えられている。また利用者が一時的に過ごせる部屋が確保され、必要に応じて対応・支援を行っている。</p>		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	障55	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 手洗い、歯磨きなど日々の生活動作の中で支援に取り組んでいる。外出・散歩を通して、あるいは音楽療法士を招いて月1回・音楽療法を実施するなど楽しみながら生活・機能訓練を行っている。</p>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	障56	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 利用者の健康状態に注意を払い、体調変化時の協力医への連絡、指導を受け迅速な対応している。状況に応じて通院支援を行っている。</p>		
A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	障57	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 希望者にはインフルエンザ予防接種を実施。現在、事業所として薬の預かりはなく利用者各人が適切に服薬をしたか確認を行っている。</p>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	障58	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 外出など希望者の意向を大切に具体化しているが、コロナの影響で制限されている。外出・余暇活動は近隣の犬山の城下町に出かけ散策や買い物、食事を楽しみながらお金を払う実践も行っている。</p>		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	障59	① ・ ② ・ ③
<p>&lt;コメント&gt; 保護者からグループホームの短期入所の要望があったケースでは、利用者の気分や体調を慎重に考慮しながら短期入所に結びつけ、地域生活へ徐々に移行していけるよう家族、ホームとも連携・相談しすすめている。</p>		

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	障60	①・b・c
<コメント> 例年は保護者会で家族と連携、交流しているが、昨年度より新型コロナウイルスの影響で保護者会は開催できなかったため、電話や連絡帳で情報交換や共有を行いながら交流、支援を行っている。		
A-3 発達支援		
		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	障61	非該当
<コメント>		

#### A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	障62	①・b・c
<コメント> いろいろな作業に挑戦してもらい、利用者の力を見極めながら、本人の意欲を大事にした支援をしている。朝礼で目標を決め、帰りの会で各自の仕事の評価・感想を出し合って働く意欲の維持・向上に努めている。		
A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	障63	①・b・c
<コメント> 利用者が希望する作業を選択できるよう話し合い、作業内容を決めている。ネジ作業ではネジ締め、本数のカウント、袋詰めの工程を複数で役割分担しながら作業を行っている。		
A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	障64	①・b・c
<コメント> ハローワークと連携し 昨年は1名が一般就労に移行した。定着支援は3か月に1回企業に訪問し仕事の様子や課題等の情報共有を行い、必要な支援を行っている。		